

グリム童話刊行 200 年記念 シンポジウム

《グリム童話とジェンダー —文字・図像・音楽にみる家族像—》

日時: 2012年10月28日(日)11時~17時

会場: 武庫川女子大学 マルチメディアホール 西宮市池開町 6-46 (阪神鳴尾駅徒歩7分)

■ 基調講演

11:00 開会の辞

11:05 ベルンハルト・ラウアー(グリム兄弟博物館館長) 独日通訳: 大野寿子(東洋大学准教授)
文字から図像へ—19-20世紀における『子供と家庭のメルヒェン集』挿絵史

12:15 質疑応答

12:30 昼休み



(Herbert Rasch: Hänsel und Gretel. Schulwandbild. Bochum nach 1951)

■ シンポジウム

13:30 野口芳子(武庫川女子大学教授): 司会・趣旨説明

13:40 ① 溝井裕一(関西大学准教授): 「解雇された兵隊」と近世の家父長制

14:05 ② 金城ハウプトマン朱美(ドイツ語圏口承文芸研究者): 「ヘンゼルとグレーテル」から見る家族像の変遷

14:30 ③ 山本まり子(聖徳大学教授): オペラにおける「ヘンゼルとグレーテル」—ジェンダーの視点から—

14:55 休憩

15:10 ④ 竹原威滋(奈良教育大学名誉教授): グリム童話とヨーロッパ民間伝承にみる「白雪姫」のジェンダー観

15:35 ⑤ 野口芳子(武庫川女子大学教授): グリム童話「白雪姫」に見られる家族像

16:00 質疑応答

16:55 閉会の辞

本シンポジウムは日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C) 給付による研究成果の一部である (研究代表者: 野口芳子、課題研究番号: 24520379 課題研究題目「グリム童話を中心とするドイツ伝承文学とジェンダー」)

問い合わせ先: 武庫川女子大学文学部英語文化学科教授 野口芳子 ☎ 0798-45-9748 noguchiy@mukogawa-u.ac.jp

参加費: 無料 (事前申し込み不要) 参加資格: なし(誰でも参加できます)

後援: 武庫川女子大学女性学研究会・グリムと民間伝承研究会